

「いきいきと生きて逝くために－自分の最期を考えること－」

「国診協版生きて逝くノート」の

***** 販売について *****

おかげさまで、多くの皆様にご活用いただいています
(頒布部数 令和2年2月29日時点 : 58,498 部)



主な内容

人生の最期について、どのように過ごして迎えるのか、どのような最期を迎えたいかを考える機会として、生きて逝くノート(エンディングノート)を交えて、家族との話し合い、個々の考えを整理していくものです。

いきいきと生きて逝くための確認ノートです。

◎今回、使い勝手を良くすることを目的に、初版のものから若干の仕様変更(紙質、表紙の一部修正)を行っております。

※紙質(重量)については、初版に比べ、若干軽めのものを採用しております。

※市区町村事業での活用の希望を多数いただきましたので、市区町村の問合せ先を明記できるよう「問合せ先」欄を設けました。

体裁 A4判横綴じ／総40頁

価格 180円(税込)

※令和2年4月1日より料金改定

ご要望にお応えして、標記冊子の販売を継続致しましたので、ぜひご活用頂けると幸いです。

本件は、公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会(国診協)が平成25年度に実施した「終末期にある者とその家族支援に関する事業」(独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業)において作成されたものです。

※同助成事業の「平成25年度助成事業における優れた助成事業」に選定されました！

平成26年4月に、全国の市区町村担当課(地域包括支援センター等)宛に、本事業の成果として活動報告書とパンフレット(「いきいきと生きて逝くために-自分の最期を考えること-(国診協版生きて逝くノート)」)をお送りしたところ、大変嬉しい評価、並びに、パンフレットの頒布(販売)の要望・問合せを多数いただいたことから同年7月より販売を開始しています。

現在まで多くの注文をいただいておりますので、増刷し、今後も販売を継続することに致しました。

ぜひ、実際に手に取ってご活用いただけると幸いです。

■主な購入者:○個人 ○老人クラブ、自主活動組織 ○県・市区町村(地域包括支援センター・保健福祉課等)
○民生委員協議会 ○高齢者施設・社会福祉協議会 ○病院・診療所 ○医師会 ○大学

～「終末期にある者とその家族支援に関する事業」成果のPR～

本パンフレットの販売は、本会が実施した「終末期にある者とその家族支援に関する事業」の普及啓発の一助として継続・地域活動の拡大に繋がればと考えております。事業実施内容については、国診協内のホームページの「主要調査研究事業」に掲載しておりますので、ぜひご覧・活用頂けると幸いです。

「いきいきと生きて逝くために-自分の最期を考えること」の他に、「看取りに関する手引き(在宅編・施設編・病院編)」、「講演用パワーポイント」、「実践用の活用シート」等を掲載しております。

※販売にあたっては、申込受け付け以外の業務は外部委託(委託先:中和印刷株式会社)となります。

発行

公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会

販売

中和印刷株式会社

